

一般社団法人日本地震工学会

第5回 地盤情報データベースを用いた表層地質が地震動特性に及ぼす影響に関する研究委員会
議事要旨（案）

1. 日 時 平成 24 年 9 月 7 日（金）13 時 30 分～16 時

2. 場 所 専売会館 8 F 会議室

3. 議 題

- (1) 地震工学会年次大会セッション企画について
- (2) 国内シンポジウムの開催について
- (3) 国際ワークショップの開催について
- (4) 話題提供

4. 配布資料

ESG 5-1 第4回ESG研究委員会（※）議事要旨

ESG 5-2 日本地震工学会年次大会オーガナイズドセッションについて

ESG 5-3 平成 24 年国内シンポジウム開催案

ESG 5-4 2013 年度国際ワークショップの開催について

ESG 5-5 2011 年東北地方太平洋沖地震の余震観測と微動アレイ観測による KiK-net 芳賀観測点周辺での地盤震動特性の評価（山中委員長）

ESG 5-6 Estimation of the nonlinearity of the surface soil at Tsukidate during the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake（早川委員）

※ESG: Effects of Surface Geology on seismic motion 表層地質が地震動に及ぼす影響.

以下、「地盤情報データベースを用いた表層地質が地震動特性に及ぼす影響に関する研究委員会」について ESG 研究委員会と略称する.

5. 出席者

*委員長 山中（東工大）

*委員 大井（防災科研），長瀬（応用地質），横井（建築研），早川（清水建設），池浦（鹿島），植竹（東京電力），南雲（東電設計），東（電中研）

6. 議事概要

(1) 前回議事要旨案が確認された.

(2) 日本地震工学会年次大会（11 月 8 日～10 日，オリンピック記念センター）のオーガナイズドセッションについて東委員から紹介された.

・「東北地方太平洋沖地震および想定される巨大地震による強震動と地盤増幅特性の評価」を ESG 研究委員会として企画したので是非応募してもらいたい.

・南海トラフの巨大地震関係で古村先生あたりに発表を依頼してはどうか.

(3) 国内シンポジウム開催案が山中委員長から説明があり，以下の事項が決定された.

- ・開催時期：2013年1月25日（金）を第一候補とする。
- ・開催場所：東工大田町キャンパス（90名程度）
- ・開催時間：13：00～18：00
- ・講演者案：
 - ①震源モデル（短周期）：芝（電中研）
 - ②震源モデル（長周期）：青井（防災科研）
 - ③長周期地震動：津野（JR総研）
 - ④長周期地震動シミュレーション：川辺（京大）
 - ⑤経験的評価（距離減衰）：大野（東北大）
 - ⑥表層地盤の影響評価（築館）：松島（京大）
 - ⑦古川の地震被害（余震観測）：盛川（東工大） or 後藤（京大）
 - ⑧非線形地盤応答：野口（電中研）
 - ⑨東京での地盤液状化：安田（東京電機大）
 - ⑩千葉県の地盤液状化：中井（千葉大） or 大井（防災科研）

(4) 2013年度国際ワークショップの開催について東委員から紹介があり、ジョイント開催を予定している10thIWMSRRについて横井委員から状況報告があった。

- ・開催時期：2013年9月頃（国外招聘予定者に都合を聞いたうえで決定）
 - ・2012年11月までに計画・予算案を地震工学会研究統括委員会に提出。
予算については地震工学会の来年度予算に反映するのかどうか、提出時期について東委員が確認すること。
 - ・2013年4～5月講演者とタイトルを確定し、原稿依頼、地震工学会から広報原稿は2～10ページとする。
 - ・2013年7月原稿締切、製本
- ・開催日程：2日間（ESG, IWMSRRで各1日を予定）
- ・開催場所：IWMSRRで予定していた政策研究大学院は共同主催であれば会場（階段教室形式で最大400名、平面で100名程度、六本木）を無料で借りられる。ただし、同大学院の講演枠を一つ用意する必要がある。（横井）
 - ESGや微動の研究成果（ハザード評価など）をどのように政策に反映するかという議論ができることよい。そのような人がいるかどうか横井委員から確認していただき、大丈夫ならば確定する。
- ・外国人の一般公募についてはESG研究委員会としては対応が難しい。10名程度の招聘を考えている。（山中）
 - IWMSRRでは一般公募をしていたが、荏本先生、瀬尾先生と相談する（横井）
- ・招聘する国外研究者をリストアップすること。
地盤データベース系で呼べる人は安田委員に伺う。NZの液状化、トルコの地震の関係など。

(5) 話題提供

- ・早川委員から、2011年東北地方太平洋沖地震の築館における強震動の解析結果について15WCEE アブストラクトで説明がなされた。
- ・山中委員長から、同地震で築館とともに震度7を記録したKiK-net 芳賀における地盤増幅特性の評価について、日本地震工学会論文集の報告がなされた。

(6) その他

- ・次回開催は11/1 14:00～ 建築会館会議室（予定）。

以 上